

令和7年度 第2回松山地域協議会会議録

日 時 令和7年10月30日（木） 午後1時30分～4時00分
場 所 松嶺コミュニティーセンター

出席委員 14名

莊 司 徳 由	岩 崎 彩	小 林 正 利	石 川 百合子
齋 藤 賴 雄	新 舘 武	新 舘 芳 子	莊 司 東 一
渡 部 謙 二	池 田 重 悅	遠 藤 均	白 旗 仁 美
井 上 亜紀子	後 藤 由 美		

欠席委員 1名

櫻 田 憲 彦

日本海八幡クリニック事務主幹 小 松 秀 一

酒田市出席者

松山総合支所長	鈴 木 啓 介
松山総合支所長補佐兼地域振興係長	佐 藤 賢 治
松山総合支所長補佐兼建設係長	加 藤 弘 樹
松山総合支所長補佐兼市民係長	遠 田 夕 美
まちづくり推進課主査兼地域振興係長	眞 嶋 里 佳
まちづくり推進課地域振興係主事	高 橋 彩 美

1 開 会

○開会の言葉 佐藤支所長補佐

2 会長あいさつ

○小林正利会長よりあいさつ

3 議事録署名人の指名

○事務局より議事録署名人に、石川百合子委員を指名

4 報告

(1) 松山診療所の診療体制について（日本海八幡クリニック）

（小松事務主幹）

日本海総合病院を運営している地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構では酒田医療

センターや日本海八幡クリニックのほか、飛島診療所と松山診療所で医療を提供している。松山診療所は日本海八幡クリニックの管轄となっている。松山診療所の現状の報告と今後の展開についてお話をさせていただきたい。松山診療所は現在週3回診療している。配置される医師は山形県の人事によるものであるため毎年のように変わってしまうが、今後も週3回を切らないように努めていく。

患者数については、人口減などにより患者数が年々減少している。地見興屋診療所にあっては0人の状態が続いている。採血等の検査が必要な患者様からは松山診療所にお出でいただいていることが要因となっている。

令和5年度に長期努めた看護師が退職し、病院機構の人事異動で新たに配置になっている。病院機構では業務の専門性の面から薬剤は薬剤師が処方するため看護師が処方することがない。不慣れな看護師が処方することで医療事故にも繋がりかねないため、今後は院外処方に切り替えるをえない状況となっている。そのため、松山診療所にも電子カルテを導入し電子処方箋を発行できるようになっており、調剤薬局のどこでも閲覧でき、薬剤師による薬の飲み合わせなどの監査も実施できるため重複投与も防ぐことができる。安全な医療提供のためDX化に病院機構含め酒田地区で力を入れて取り組んでいるところなのでご理解をいただきたい。

日本海八幡クリニックでは、通院が困難な患者様のところへ、移動診察室（遠隔診療システムと医療機器を搭載した車両）で看護師が訪問して遠隔診療を提供する医療MaaSを進めている。現在は1診療所1台という制限があるため、八幡地域のみで松山地域では展開できていないが、他県では1台の車両で複数の診療所で診療している事例があるので、山形県と協議を進めている。県の許可が下り次第松山でも進めていきたい。

松山町時代から走らせてきた内郷バスを病院機構で引き継いでいるが、現在利用者がいない状況である。今後も続くようであれば今年度いっぱい廃止をして訪問診療等に切り替えていきたいと考えている。皆様より審議をいただきたい。

(遠藤委員)

内郷バスを利用している人がいたが、昨年亡くなってしまった。

(小林会長)

利用者がいないのであればバスの廃止も仕方がないと思う。また、電子処方箋はおくすり手帳に代わるものか。

(小松事務主幹)

そのとおり。マイナカードで呼び出しできる。ただし医療機関や調剤薬局によっては採用していないところもあるため、すべて閲覧できるわけではない。

(岩崎委員)

院外処方に移行するということであるが。院内処方の方もいるようだがなぜか。

(小松事務主幹)

完全に院外処方に切り替えたわけではなく、急性の患者様には院内処方をしている。

(莊司東一委員)

令和5年度は、電子処方できる医師が1名しかいないということはどういうことか。

(小松事務主幹)

処方する医師は、医師であることを証明する電子証明書をスマートフォンに入れていないと電子処方箋を発行できない。制度が急に変わり、手続きをしても証明書発行に時間がかかるため2名の医師は間に合っていなかった。現在は3人とも発行できる。

(莊司東一委員)

内郷バスの運行はどこかに業務委託しているのか。広報はどのようにしていたのか。

(小松事務主幹)

松山観光に運転を委託している。広報は内郷地区だけを対象とした広報はしていない。診療所に掲示しているだけである。

(莊司東一委員)

内郷コミ振において周知をする。支所の広報でもお願いしたい。

(支所長)

支所広報で周知をする。また、日本海八幡クリニックの説明に補足するが、山寺・松嶺・南部の患者様はデマンドタクシーを使用されている。歴史的な経緯はあるが現状では内郷地区だけにバスを走らせている。病院の経営面や、負担金を出している市の立場からすれば利用者がいないのであれば廃止で仕方がないと思う。

(池田委員)

地域協議会で決定するものではない。ここで決定するということは地域協議会の趣旨に合っているのか。

(小林会長)

ここで決定するのは本筋ではない。事務局より説明いただきたい。

(支所長)

この場で可否を決定するものではない。あくまでもこのような方向で進んでいるという情報提供をさせていただいたもの。廃止するか否かは病院機構で総合的に判断いただくものと思っている。

(2) 酒田市過疎地域持続的発展計画の素案について（まちづくり推進課）

(眞嶋主査)

前回皆様に報告させていただきこのたび素案ができた。皆様よりご意見をいただきたいと思い本日の協議会にて時間を作っていただいた。すでに総合支所で独自に住民の皆様へアンケートという形で意見を聴取したと聞いている。併せて総合支所管内の地元議員からも意見をいただいている。本日は地域協議会の皆様からもご意見を頂戴したいと考えている。出された意見を基に修正し、パブリックコメントに進んでいきたい。

(小林会長)

事前に配布しているので、意見があればお願いしたい。もし今すぐ難しいようであれば、後日意見を総合支所へ提出するということで進めていいか。

(眞嶋主査)

1 月中旬位まで取りまとめていただけるとありがたい。

(支所長)

1 月 12 日に平田で説明会があるので、その位までに提出をいただきたい。具体的な取組み方法について記載している計画ではないので、追加や認識の違いなどがあればお知らせいただきたい。電話でも何でも構わないのでお知らせいただきたい。

(新館武委員)

今の時点で気づいたところを発言させていただく。眺海の森の宿泊施設である「さんさん」は7年位閉鎖している。今後どのように進めていくのか。事業内訳に新規でさんさんの施設整備事業を追加していただいた。地域としても希望の光というふうにとらえており、感謝している。だが、さんさんの再開はハード面だけではなくソフト面を充実しないと進まない難しい事業。計画期間である令和12年まで進めていただきたい。計画期間が終わっても見通しが立たず、次計画に継続とならないよう推進していただきたい。

(小林会長)

以前、さんさんの活用計画が発表されたときは本当に良かったと思った。冬はスキーフィールドがあるので、何とか季節のいいときだけでも開館して最高の景色を楽しんでいただけないだろうか。

(佐藤支所長補佐)

住民へのアンケートでも眺海の森やさんさんの再開に関する意見が多く寄せられた。本文にも記載があったが、事業内訳には記載がされていなかった。意見を基に追加していただいている。素案にもさんさんの再開について課題として記載している。

(新館武委員)

本文を確認したが熱量が足りない。もっと踏み込んだ文言にしていただきやる気をみせ

ていただきたい。また、どのようなスケジュールで進めていくのか具体的なスケジュールを示していただきたい。

(池田委員)

この計画は何かをしていくという計画ではない。これを見ても何をしていくのかということが記載されていない。地域協議会では、松山をどうしていきたいということを議論する場だと思っているので、素案に対してどうのと意見する気はない。私は、酒田市の公共施設適正化懇談会の委員となっている。体育館について八幡も平田も次の計画が示されている。松山体育館は耐震化になっていないので、旧松山中体育館を活用するとあるが具体的な計画はない。支所では地域のスポーツをどのように考えているのか。地域にある3体育館はどうしたいのか。中学校の校舎を解体して中学校の体育館を使うということは分かるが、どのようなことを支所としてスポーツ振興課に働きかけかけていたのか。

(支所長)

スポーツ振興に関しては、スポーツ推進計画等の見直しなどのタイミングを捉えて地域の意見を申し上げてきたが、引き続き様々な機会を捉えて働きかけてていきたい。

(池田委員)

地域協議会で協議をして働きかけをお願いしたい。地域の代表と一体となって要望を上げていってもらいたい。

(支所長)

松山地域の振興のために皆様より意見をいただいている。地域協議会での提言は市の当局へ繋いでいく場となっている。ぜひ一緒に取り組んでいただきたい。

(石川委員)

初めて聞いたが、松山体育館はなくなるということか。

(池田委員)

すぐになくなるわけではないが候補に上がっている。

(支所長)

まだ具体的に決まっていない。池田委員が委員となっている酒田市公共施設適正化懇談会の資料の中では、現松山体育館を廃止して、耐震性を有する旧松山中体育館を松山体育館として活用することを検討すると記載されている。松山から体育館をなくするという考えではない。

(石川委員)

ぜひそのようにしていただきたい。

(渡部委員)

新館武委員からもあったが、さんさんに対する熱量がうすい。もっと熱量のあるものにしていただきたい。空き家対策、もっと具体的に踏み込んだ強い文言で、行政代執行も含め適正な管理に取り組んでいくうたってほしい。下水道に関して、昨年の大雨災害で処理施設が水没したことから大きな災害の対応や、老朽化により穴が開いた都会の対応の仕方、今後、老朽化した管を変えていくのか、合併処理浄化槽に変えていくのかなど今後の方向性について具体的に書いていただきたい。

(小林会長)

眺海の森に関して同感である。第二県民の森として整備されているのに、県の動きも見えない。県も含めて眺海の森の再開に関しての熱意が欲しい。

(莊司東一委員)

内郷地区では地域おこし協力隊の募集を要望しているところだが、新しい概念として特定地域づくり事業協同組合制度に手を挙げていくとある。しかし事業内容のところに具体的にどのように取り組んでいか記載がない。どのように進めていく予定なのか。

(眞嶋主査)

この計画に入れたので具体的に進めていこうというものではない。こういう制度があるから取り組んでみてもいいのでは、といった内容にとどめている。

(莊司東一委員)

八幡地域では地域振興を地域おこし協力隊を卒業しても積極的に取り組んでいる。あの先進事例をもっと取り入れていってはどうか。

(眞嶋主査)

あの方は大沢地区で起業している方で、特定地域づくり事業協同組合制度とはまた違った取り組みをしている。ただ、卒業してからもいつまでも関わっていただけるということは大変ありがたいこと。市としても支援を続けていく。

(莊司東一委員)

防災対策について、この地域は昨年の大雨の際に大変な被害にみまわれた。防災ラジオに代わり、地区を限定して放送できる個別受信機を再配備することについて、検討ではなく積極的に取り組むべきである。

(眞嶋主査)

他からも同じようなご意見を頂戴している。担当課へ伝える。

(莊司東一委員)

廃止が決まっている阿部記念館について、今まで展示していた貴重な資料や行ってきた事業をどのように引き継いでいくのか。廃止後どのように伝承館で引き継いでいくのか。

途絶えることのないよう明確に記載すべきでは。

また、鶴岡市にある加茂水族館に、生態学者である阿部襄先生の研究パネルが展示されている。同館は改築に向けて進んでいるが、継続してその展示物が見られるように鶴岡市や関係部署で協議してもらいたい。

(小林会長)

山寺コミ振として補足する。展示物は伝承館に展示すると聞いている。そのように山寺コミ振とまちづくり推進課及び文化政策課で話を進めている。

今回事務局の方で、意見集約用の様式を準備していないということなので、計画素案に対する意見がある方は自由記載で構わないので支所まで提出いただきたい。支所よりまちづくり推進課へ繋いでいただく。

5 議事

(1) 買い物環境に関するアンケート調査結果について

～事務局より資料の説明～

(小林会長)

皆様が思っているとおりの内容だったのではないか。しかし、これからどういう風に動いていったらいいのかイメージができない状況である。アンケートを基に検討できればと思っている。

(新館芳子委員)

閉店したAコープ松山店に開店当初から勤務していた。開店して5～6年はだまっても売り上げが伸びていたが、近隣に大きな店舗ができるとどんどん流れていった。地域性は変えることはできないのではないか。Aコープも下り坂になったときに移動販売を行った。最初は売れたがだんだん下火になっていた。南部地区の小屋を借りて出張販売をしたこともある。移動販売と一緒に最初だけだった。自動車を運転できる若い人は外に出て行ってしまう。何とかしようと職員みんなで知恵を出し合ったが、結局撤退してしまった。松山で利益を上げることは難しい。

診療所だけでなく、買い物目的で車を周るのはありだと思う。酒田市は便利な環境が整っている市街地で誰も乗らないバスを動かしているが、環境が整っていない山間部でこそバスを動かすべきではないか。山間部は見向きもされていない。

農産物加工所が以前は特産物の開発などで活用してきたが、だれも使う人がいなくなっている。なくなると困るので市外や地域外からも来ている。今後もなくさないよう利用を推進していく。

松山は課題がたくさんある。いかに明るくしたらしいのか。利便性、交通機関、災害対策

など課題は盛沢山である。

(小林会長)

クラフトフェアや夏祭りなど開催中は多くの人が集ってきてにぎわいが見られるが、イベントを毎日行うことはできない。

(新館芳子委員)

今はいいがこれからどのように食料を確保したらいいか不安である。

(小林会長)

今は、人口減少が進み自治会単位ではなく、コミセン単位で何かしていかないといけない。自治会やコミ振もいつまで維持できるのか危惧している。核となるリーダーがいないとダメになるので育てていかないといけない。

(新館芳子委員)

若い人が入ってくればいいが、逆に高校になると送り迎えがあるため、不便なため一家で出て行ってしまうケースがあると聞く。

(莊司徳由委員)

南部地区でも2回ほどアンケートをとっている。ここまで詳しく取っていなかつたので大変ありがたい。傾向としては南部地区でとったアンケートと同じである。南部地区に個人でやっている移動販売車から来てもらっている。最初は買い物にきてくれたが段々物が揃っている外に行きたくなってしまう。買ってくれる人がいないと関係が切れてしまうので市外の清川や柏谷沢にも行ってもらっている。南部地区だけでは活動できなくなっている。要望が他地区でもあり、まとめられるのであれば、もっと回していただけるのではないか。

可能なら外に出て直接買い物に行きたいと思っている。南部地区で外に連れていくボランティアをしようと検討したが、利用者も集まらなかった。地区をこえて松山地域全体で外に連れていくボランティア活動はできないか。コミセン単位では人数はまだ少ない。まだ買い物難民といわれる人は少ないがこれからは絶対に必要になってくる。今のうちに足掛かりとなる組織ができるんだろうか。

(小林会長)

支所で買い物に特化したるんバス的なものを定期的に走らせることはできないか。せっかくアンケートをとっていただいたので、次回取る際は買い物専用のシャトルバスがあつたら利用するかの設問があつてもいいのではと感じた。料金をとってもいいので3軒程度日替わりで周るルートを作ってはいかがか。

(莊司徳由委員)

以前余目駅を発着しているイオン三川行のバスを松山まで延伸できないかという意見もあった。そういったことも発信できれば。

(白旗委員)

デマンドタクシーは病院に行くときとても便利で利用させてもらっている。だが土日に予約やキャンセルができない。民間に委託しているので連絡ができないものか。改善できないだろうか。また、自宅と停留所の往復しかできない。八幡地域等どこにでもバスのように行けるようにはならないだろうか。

(新館武委員)

アンケート結果について住民にどのようにフィードバックしていくのか。何かお知らせする予定はあるのか。ここにいる人は分かるが大体の人は見に触れない。どのように知らせする予定か。

(支所長)

フジストアの閉店、路線バスが廃止となり、地域住民の実情を認識して対策をとりたいと思い支所でアンケートをとった次第である。アンケートの結果を基に地域協議会の皆様より松山地域の課題を抽出していただきて、地域振興に役立てていければと思っている。当然、地域の方々でアンケートの結果はどうなっているのだと思われる方はいらっしゃると思うので、支所の送達にて自治会へ回覧してフィードバックしたい。

(石川委員)

公共交通の会議の委員となっており、会議の席で八幡の委員から発言があったが、公立高校の高校生は親が送り迎えをするのが日常化している。そのため親の負担軽減のため、送り迎えが充実している私立高校に流れていく傾向がある。せめて朝だけでもバスを回せないか。親の負担軽減を地域全体で推し進めていいけないか。1便あるだけでも保護者はありがたいのでは。市内では誰も乗ってないのにびっくりするくらい本数がいっぱいある。その1便だけでも支所管内に向けてもらいたい。若い人が出ていかないように、ぜひ提言していきたい。

(支所長)

一昨年の提言でも、公共交通に関して市長へ提言した。今回の計画見直しの中で議論されていると聞いている。すべてが反映されるものではないが地域の声として上がっている。

(小林会長)

協議会の今後の進め方について事務局より提案願いたい。

(佐藤支所長補佐)

詳細は先程配布したスケジュールに沿って進めていきたい。次回から具体的な提言をま

とめていく。委員の皆様より松山地域の課題や解決方法の提言の案を14日まで提出いただき、それを基に第3回の協議会を開催したい。第3回協議会は12月上旬を予定している。協力をお願いしたい。

5 その他

(小林会長)

前回その他で発言のあった竹田の防災対策や学童保育について、進展があれば事務局より説明願いたい。

(支所長)

竹田地区の減災対策については、8月下旬に地域の皆様に説明をしている。地域との要望との隔たりはあるが、そこを埋めていく作業を続けていく。

学童保育所については、7月に学童保育所より要望書をいただき、8月に市役所の関係課による担当者会議を開催し継続して検討する予定となっている。

(池田委員)

クマの出没が毎日来ている。横根山だけでも払ってもらえないか。

(支所長)

内郷地区だけではなく、松山地域全体で出没している。毎日のように地域の方々から支所へ目撃情報が寄せられ、獣友会からも今年の元旦から連日出動いただいている。松山の獣友会の会員は現在3名で存続が危ぶまれている。有害鳥獣対策は全庁的な課題であり、しっかりと対策を講じていなければならぬと思っている。

(莊司徳由委員)

ハンターの資格取得に補助はあるのか。

(支所長)

るので、ぜひご紹介いただきたい。

(新館芳子委員)

果樹伐採の補助制度があると聞いたが、まだあるのか。

(遠田支所長補佐)

今年度の予算は上限に達したと担当課より聞いている。来年度ご活用をご検討いただければ。

6 閉 会

(小林会長)

これで第2回松山地域協議会を終了する。円滑な議事進行に協力を賜り、感謝申し上げる。